

平成 17 年 12 月 19 日 (月曜日)

求められるプロとは

NLF 物流カレッジ説明会開く

日本ロジファクトリー(NLF)は十二日、『物流実務カレッジ』の説明会を兼ねた『物流プロ養成フォーラム』を開催。青木正一社長が、『求められる物流のプロ』をテーマに講演。

青木氏は、「外食や小売業と同様に、物流

業は所長産業と表現。かりと教育できる会社か、今後の競争で優位に立てる」と語った。

また、「物流会社は、所長やセンター長、アルバイト・パートの教育を最優先すべき」とし、「ニート・フリーターを戦力化し、しっ

かりと教育できる会社か、今後の競争で優位に立てる」と語った。

また、「優秀な人材は多いが、自社の物流しか知らず、何が問題なのかを発見する力がない『井の中の蛙』になっていく人が多い」と付け加えた。

「この十年で、運送会社の提案力は飛躍的に向上した。我々が、提案書を見てうるごとも多い。しかし現場力は、あまり上がっていないのが実情」とい

「養成方法や教育体系が構築されていなかったのが原因」と指摘。

また、「優秀な人材は多いが、自社の物流しか知らず、何が問題なのかを発見する力がない『井の中の蛙』になっていく人が多い」と付け加えた。



物流プロ養成フォーラムでは青木社長が熱弁

講演の最後に青木氏は、「日本初の実務中心の泥臭い教育機関をめざしている。〇八年までに百人、一五年までに千人の物流のスターを輩出したい」と抱負を語った。

講演終了後、同カレッジでマネジャーを務める國澤淳司氏が、カレッジ開校に先立ちスタートするプレ講座の二コースについて説明した。

『物流コンサルタン ト育成コース』は、三

か月間に六回の講義が開かれ、物流コンサルに求められる企画力や提案力、現場改善能力を身に付けることができるというもの。日程は、来年一月十四日・同二十八日・二月十一日・同二十五日・三月十一日・同二十五日。いずれも土曜日の午前九時～午後五時四十五分。会場は、東京都港区のイーグル西新橋ビル。参加料は、一人三十一万五千元。

『提案営業マンパ ワーアップコース』は、三日間の短期集中型のカリキュラムで構成。國澤氏は、「営業担当者の企画力・提案力が向上し、受注力を増強できる手法を学んで頂く」と説明。

同コースの日程は、二月四日・同十八日・三月四日。時間・会場は同じ。参加料金は、一人十五万七千五百円。詳細は同カレッジのURLは、<http://ipcollege.jp>

トラブルの対応が課題

同氏は、「物流業は変化対応業でも表現。イレギュラーにどう反応できるかで決まる。トラブル発生時に、取

いかに迅速にリカバーできるかが問われる」とし、「最終的には人海戦術でコントロールするしかないが、その際に現場オペレーションの『プロ』が必ず必要になってくるが、残念ながら日本では『物流のプロ』が育っていないのが現状。取